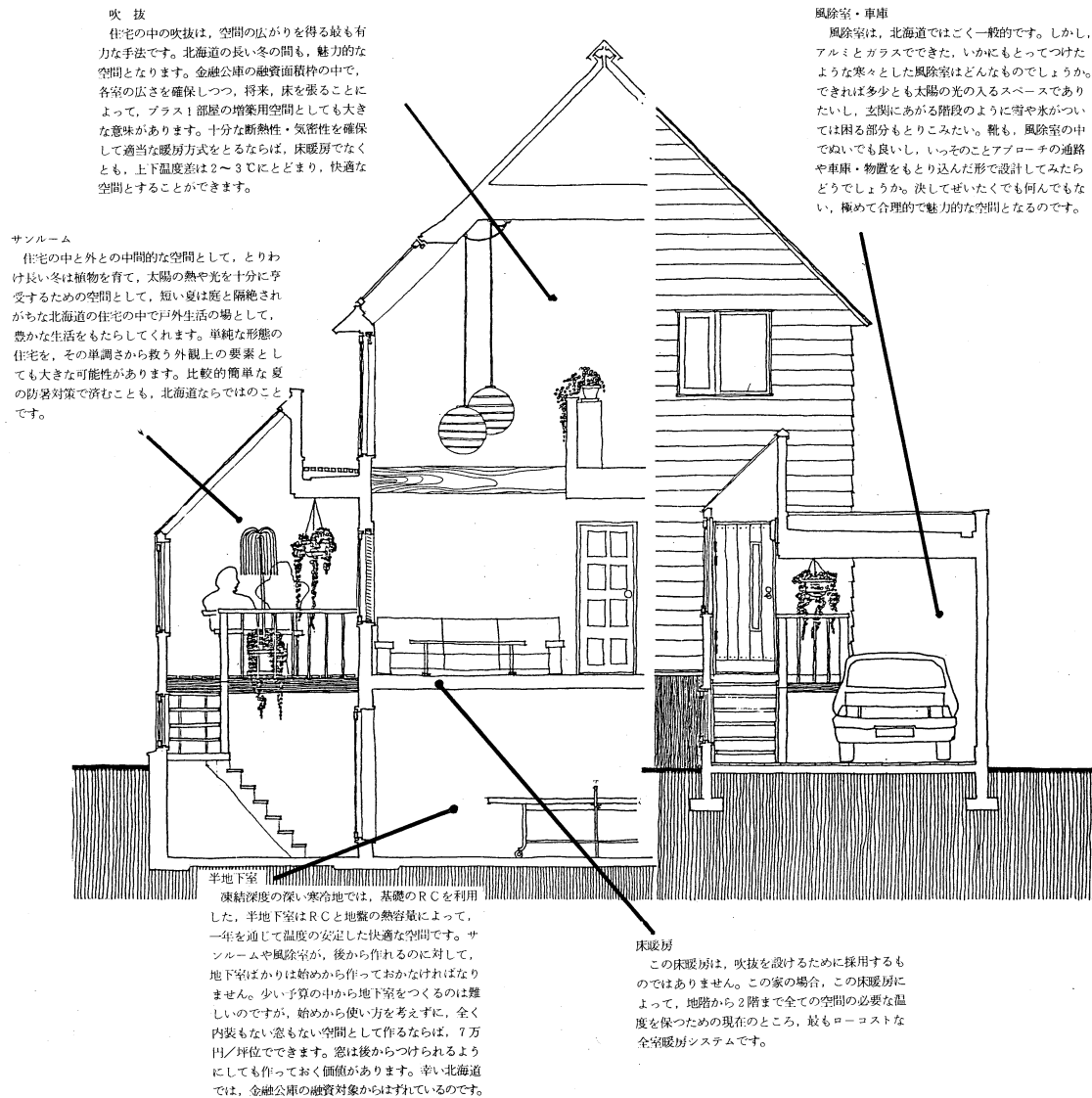


## ポイント5 魅力的な空間……北海道ならではの家づくり

単純な形で、断熱・気密のしっかりした、暖かくて灯油のかからない高性能住宅は、もうできることがわかりました。しかし、「家」とは性能一点張りでは成立たないものです。

寒冷地・北海道という風土の中で、「家」は地域ごとの特色、人それぞれの個性、生活等を豊かにはぐくんでくれる器なのです。「家」を設計する過程で、色々な制約の中でもぜひとも大事にした

いものです。新築の時、何んでもかんでも全て実現するよりも、「家」の中で暮らしながら、住み手の個性と「家」が共に成長し、豊かな生活が営まれることが、望ましいのです。ここでは、コンパクトで単純な家に北海道としてふさわしい、北海道ならではの空間をしつらえた実例を紹介します。



サンルーム

住宅の中と外との中間的な空間として、とりわけ長い冬は植物を育て、太陽の熱や光を十分に享受するための空間として、短い夏は庭と隔絶されがちな北海道の住宅の中で戶外生活の場として、豊かな生活をもたらしてくれます。単純な形態の住宅を、その単純さから救う外観上の要素としても大きな可能性があります。比較的簡単な夏の防暑対策で済むことも、北海道ならではのことで

吹抜

住宅の中の吹抜は、空間の広がりを得る最も有力な手法です。北海道の長い冬の間も、魅力的な空間となります。金融公庫の融資面積枠の中で、各室の広さを確保しつつ、将来、床を張ることによって、プラス1部屋の増築用空間としても大きな意味があります。十分な断熱性・気密性を確保して適当な暖房方式をとるならば、床暖房でなくとも、上下温度差は2〜3℃にとどまり、快適な空間とすることができます。

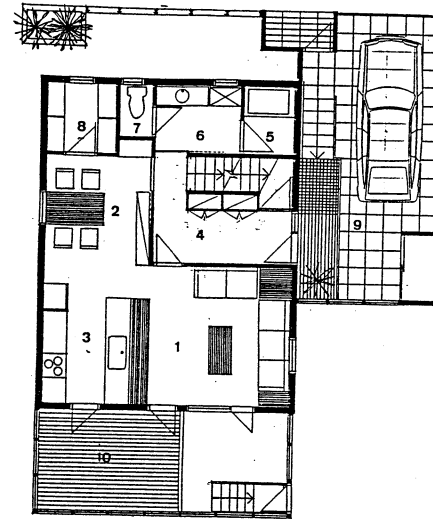
風除室・車庫

風除室は、北海道ではごく一般的です。しかし、アルミとガラスでできた、いかにもとってつけたような寒々とした風除室はどんなものでしょうか。できれば多少とも太陽の光の入るスペースでありたいし、玄関にある階段のように雪や氷がついては困る部分もとりこみたい。靴も、風除室の中でぬいても良いし、いっそのことアプローチの通路や車庫・物置をもとり込んだ形で設計してみたらどうでしょうか。決してせいでなくとも何んでもない、極めて合理的で魅力的な空間となるのです。

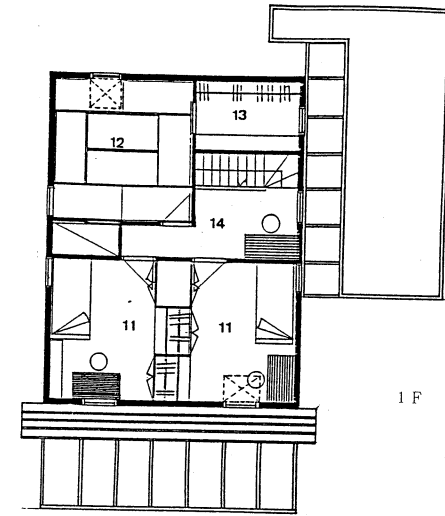
床暖房

半地下室  
凍結深度の深い寒冷地では、基礎のRCを利用した、半地下室はRCと地盤の熱容量によって、一年を通じて温度の安定した快適な空間です。サンルームや風除室が、後から作れるのに対して、地下室はやはり始めから作っておかなければなりません。少い予算の中から地下室をつくるのは難しいのですが、始めから使い方を考えずに、全く内装もない窓もない空間として作るならば、7万円/坪位でできます。窓は後からつけられるようにしても作っておく価値があります。幸い北海道では、金融公庫の融資対象からは行われています。

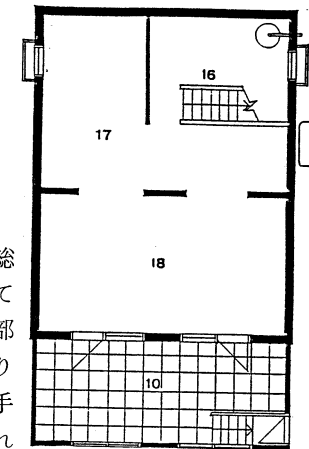
この床暖房は、吹抜を設けるために採用するものではありません。この家の場合、この床暖房によって、地階から2階まで全ての空間の必要な温度を保つための現在のところ、最もローコストな全室暖房システムです。



1階平面図



2階平面図



地下平面図

- 1F 1 居間
- 2 食堂
- 3 台所
- 4 玄関ホール
- 5 浴室
- 6 ユーティリティ
- 7 便所
- 8 食品庫
- 9 風除室・車庫
- 10 サンルーム
- 2F 11 子供室
- 12 主寝室
- 13 納戸
- 14 ホール
- 15 バルコニー
- 16 ボイラー室
- BF 17 物置
- 18 プレイルーム

	居住部分	非居住部分
1F床面積	51.03	
2F床面積	51.03	
車庫・風除室		25.11
サンルーム		26.73
地下・物置等		51.03
小計	102.06	102.87
合計	204.93	

上の図面は、3.5間×4.5間＝15.75坪の総3層構成の住宅です。客間としての和室を設けない点が多少一般性にかけるのですが、本体部分48.25坪の空間は狭さの中にも十分なゆとりを持っています。とくに、地下室の使い方は住み手の個性にまかされているのです。子供が小さければ、2階の子供室は一室分が予備室として客間にもなりますし、吹抜としてもよいでしょう。もちろん、何年か後に地下に客間を作ってもよいのです。風除室・車庫・サンルーム等はだんだんに作っていけばよいのです。この住宅は、若い世帯向けの住宅なのですが、住み手と共に成長する魅力を持っています。

右の写真は、図面とは違って大分大きい住宅なのですが、単純な形の外周に風除室・サンルームを設け、魅力ある外観、寒冷地の住宅としての新しい外観を持っているとは思いませんか。住宅展示場に並んだ装飾的な外観をもつ住宅に比べて、空間的な魅力が外観に表われているのが、魅力だと私は思います。

